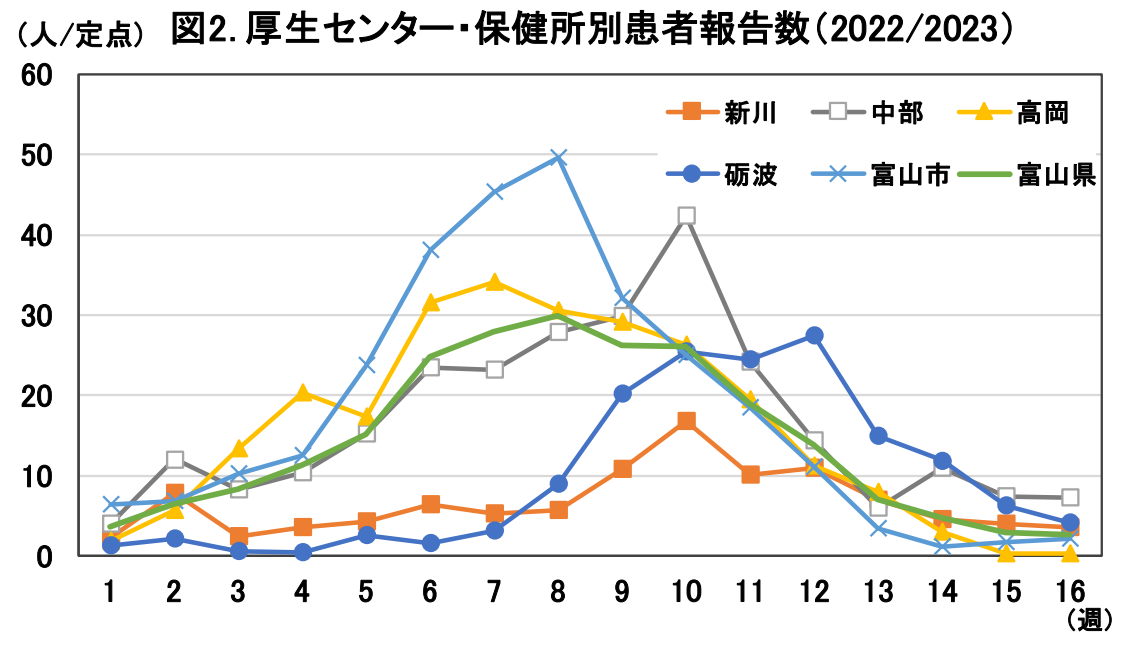
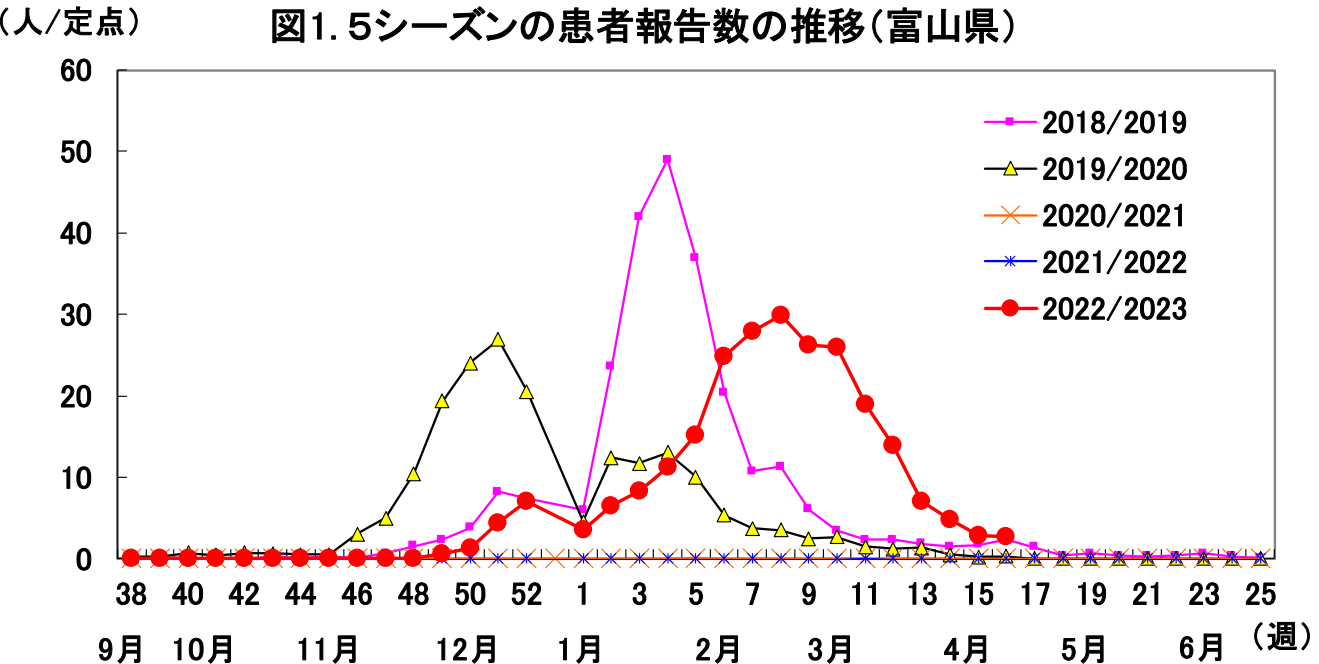


インフルエンザの発生状況(富山県)

【第16週(2023/4/17~23) 感染症発生動向調査速報値 (2023/4/26時点)】



- 今週の報告数は2.65人/定点であり、先週 (2.90人/定点) から横ばいとなった (図1)。
- 厚生センター・保健所別に見ると (図2)、砺波厚生センター管内で報告数が減少した他は、報告数は横ばいであった。

※COVID-19流行に伴う受診控えなどの影響により、インフルエンザの流行状況を過小評価している可能性などが考えられ、データの解釈に注意が必要。

図3. 年代別割合(富山県、第16週)

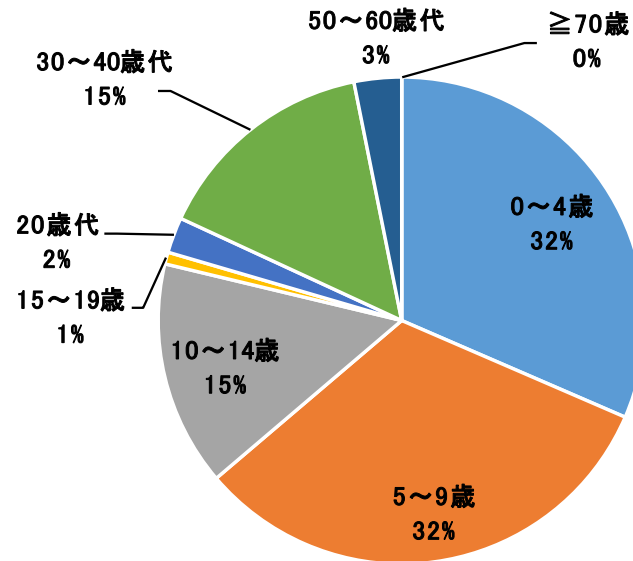
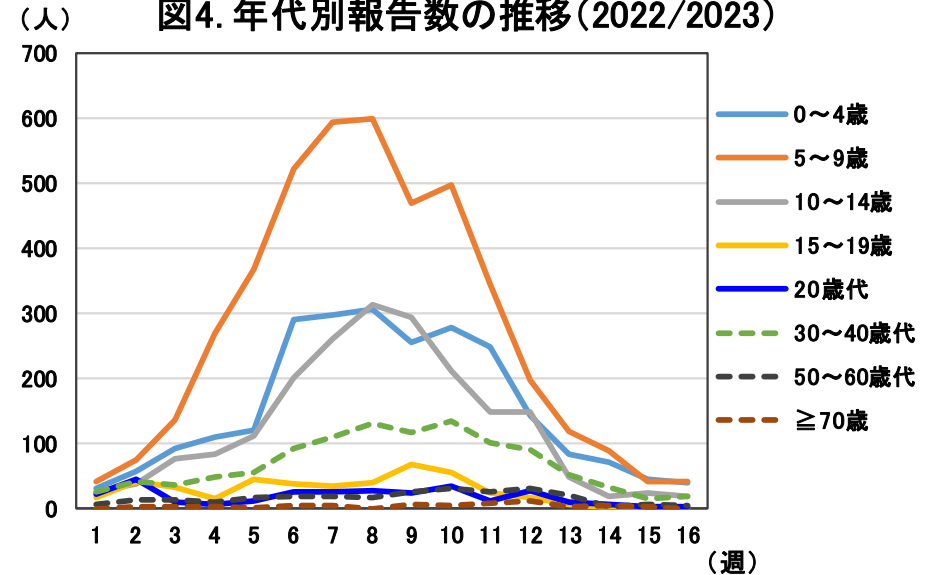


図4. 年代別報告数の推移(2022/2023)



- 富山県の第16週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が79%を占めた。
- 年代別報告数の推移（図4）では、すべての年代で減少または横ばいであった。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖は、第16週に小学校1件の報告があった。

富山県HP : <https://www.pref.toyama.jp/120507/kurashi/kenkou/iryuu/kj00007295.html>

富山県感染症情報センターHP : <https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/inful/influ2223/influ2223.htm#gakkyuheisa>

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第15週)

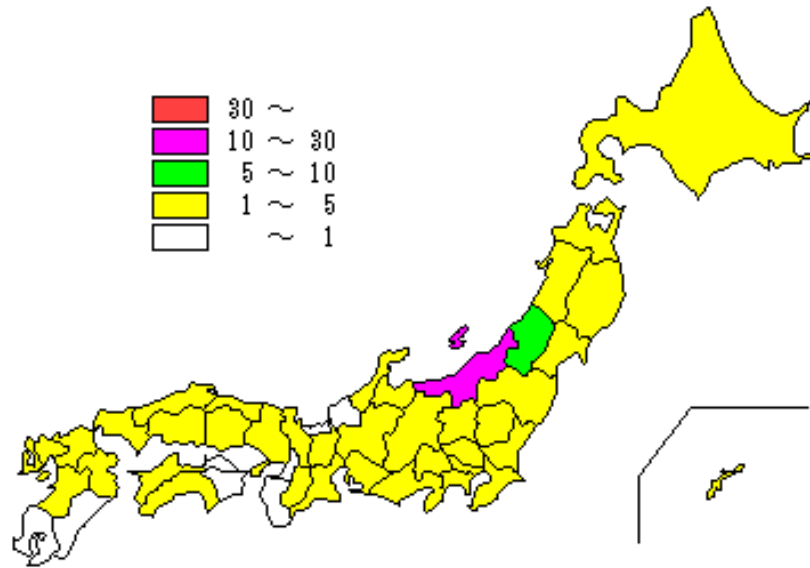
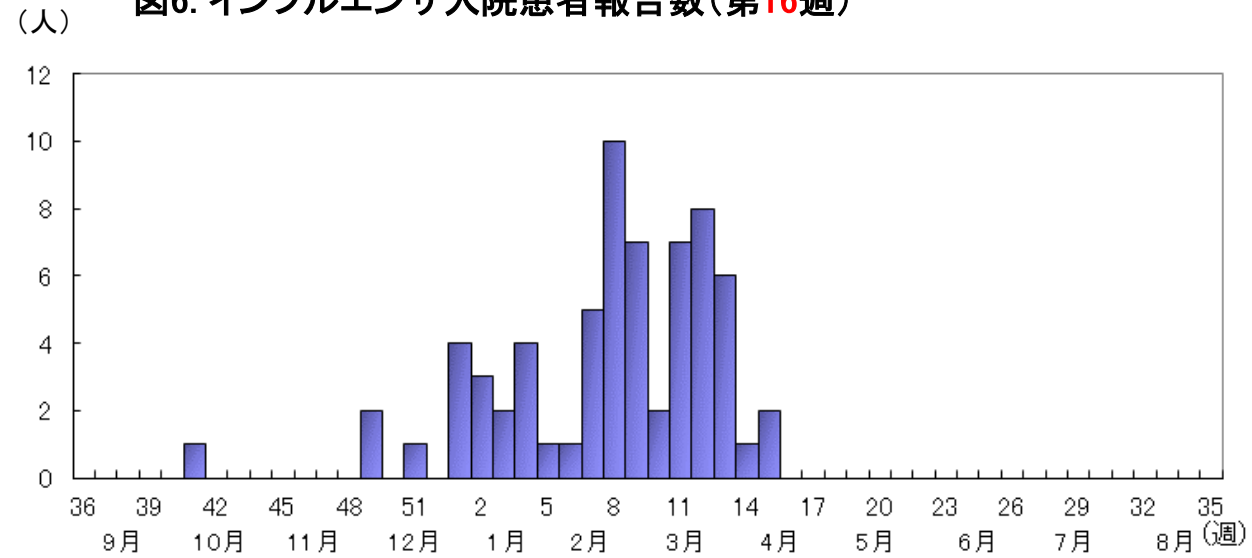


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第16週)



- 全国の定点あたり報告数は第15週に2.16人/定点となり、前週(2.77)より減少した。都道府県別(図5)では、新潟県で注意報レベルの10人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス(図6)では、第16週に入院患者の報告はなかった。